

三島市長 豊岡 武士 様

三島商工会議所
会頭 石渡 浩 二

三島駅南口東街区再開発事業についての要望書

三島駅南口東街区再開発事業については昭和 6 2 年より検討が進められた三島市民にとって積年の思いのある事業であり、開発を軸とした街づくりの計画もすすめられています。

これまで再開発事業を率先調整し実現にまで漕ぎ着けた市の努力を大いに評価するものでありますが、30年後、50年後の子供や孫たちからも喜ばれる事業とすべく、今一層の市のリーダーシップを期待するものであります。

地域総合経済団体として、三島市とともに、本事業を通じた地域経済の活性化やにぎわいづくりに取り組んでまいりますので、今後の街づくりを見据えた 5 項目の要望について、よろしくお取り計らいの程お願い申し上げます。

1. にぎわい創出の拠点機能（コンテンツ）の充実

（1）展望スペースの設置

これまで当商工会議所では、街中散策マップ、人を呼び込むイベントや施設などで交流人口を増やす工夫をしてきた。新しい街の魅力発信として高い位置から当地域を見渡せる展望施設がある事で、伊豆の玄関口三島、富士山と駿河湾を望むことのできる三島の存在感が高まると考える。その様な施設は、この開発のタイミングでなければ成す事ができず、何より東街区再開発のシンボリックな役割を果たすと考え、展望スペースの設置を要望する。

（2）観光PR拠点の充実（歴史文化保存も含む）

東街区には広域健康医療拠点の役割と共に商業施設の設置など、集客力のある施設が盛り込まれる。西街区の広域観光交流拠点の役割を補完しつつ、三島駅前の観光案内所（移転も検討協議）の機能を一層充実させ、東街区にも一般市民や観光客が気軽に利用できる広域連携観光PR拠点の整備を要望する。

（3）市民が自由に使い集い交流の場となるような屋内外公共スペースの充実

より市民から親しみをもたれる施設にするために、三島の未来を担う子供たちや、文化活動を行う市民や団体が有効活用できる、屋内外公共スペースの充実を要望する。

（4）水のプロムナードと連携した新たな水の仕掛けの設置

水の都三島を宣言するにふさわしく、せせらぎ事業の景観形成を継承した新たな水の仕掛けを東街区にも要望する。

2. 三島市内事業者活用をお願い

三島市内の建設業、ビルメンテナンス業、商業などの受注や売上機会を確保することは、地域経済の安定と雇用維持に繋がる。東街区開発において受注事業者が工事等を下請発注する場合や、入居テナント選定の際には、三島市内の事業者を優先頂きたいと要望する。

3. 新設する駐車場での「みしま共通駐車サービス券」の取り扱い

みしま共通駐車サービス券運営協議会では、市内商店での購買を促進する目的で駐車券の発行を行っている。市内商店街でお買い物をしたお客様にサービス券を発行しているが、駅前にはサービス券が使用できる駐車場がないため、その機能を十分に発揮できていない。来街者の利便性向上と中心市街地への回遊性を高めるためにも、みしま共通駐車サービス券の取扱いを要望する。

4. 環境保全の観点からグリーンインフラに配慮した工事

雨水を河川に放流することにより、増水氾濫することがある。気候変動による降雨量増加により空から降った大量の雨水を、浸透柵、浸透性歩道、浸透性駐車場、緑地の拡大等を活用し大地へ浸透させて還元することは、大地に十分な保水力がつき緑化の促進に役立つと考える。このことはSDGs「15. 陸の豊かさを守ろう」の理念にも通ずる。環境保全の観点から、開発工事の際はグリーンインフラに配慮した開発工事を要望する。

5. 事業検討スケジュールの共有、検討期限などの適宜共有、意見交換の定期開催

地域総合経済団体として東街区が担う役割には大変期待をしている。適切な情報公開を望むが、利害関係者との関係により公にできない情報がある事も理解している。しかし、基本設計の決定等期限が迫っているものもあるなか、一体となって地域経済の活性化を進める立場として、事業検討内容やスケジュールの共有を要望する。また、より良い施設とすべく前向きな意見交換会を継続して実施することを併せて要望する。